

科目分類	統合分野	学 年	2 年	担当教員の氏名・職名
授 業 科 目 名	在宅看護援助論Ⅱ (在宅看護活動の 実際)	学 期	後 期	室岡 裕子 (看護教員) 齋藤 貴美子 (看護師) 上口 友紀 (ケアマネジャー) 富田 直寛 (ケアマネジャー)
		単 位 数	1	
		時 間 数	30	
目 的 (ねらい)	対象者個々の生活や権利等を大切にしながら、生活の質の維持・向上を目指して家族を含めた看護を展開していくための知識を学ぶ。さらに、在宅療養に深く関係しているケアマネジメントや介護保険制度の基本について学ぶ。			
目 標	1. 在宅で療養する人々の生活をイメージし、在宅看護過程の展開について理解する。 2. 在宅療養者の権利擁護およびリスクマネジメントについて理解する。 3. 家族支援のあり方について考察する。 4. 在宅療養を支えるケアマネジメント・介護保険サービスについて理解する。			
授 業 計 画	回数	単元項目	内容	授業形態
	1	在宅療養者の生活とは	在宅療養におけるライフスタイルの重要性	講義
	2	在宅看護過程の展開①	在宅看護過程の基本的な考え方	講義
	3	在宅看護過程の展開②	事例を用いてアセスメント・関連図作成	講義・ワーク
	4	在宅看護過程の展開③	在宅療養者に関する権利擁護と倫理	講義
	5	在宅療養者の権利保障	在宅療養中における事故とその対策	講義
	6・7	在宅看護におけるリスク マネジメント①・②	被災予防と感染対策 事例をもとに家族への看護を考える	講義
	8	家族支援①	家族の肖像(視聴覚教材)	講義
	9	家族支援②	家族看護(家族の機能・家族アセスメント)	講義
	10	家族支援③	継続看護と退院支援・退院調整	講義
	11	継続看護	ケアマネジメントの概要	講義
	12	ケアマネジメント①	ケアマネジメントを考える	演習
	13	ケアマネジメント②	介護保険制度の概要	講義
	14	介護保険制度①	介護保険サービスをマネジメントする	演習
	15	介護保険制度②		
	教 科 書	ナーシンググラフィカ「地域療養を支えるケア」メディカ出版 ナーシンググラフィカ「在宅療養を支える技術」メディカ出版		
参 考 文 献	「新版 在宅看護論」木下由美子他 医歯薬出版 国民衛生の動向、新聞、専門雑誌等			
評 価 方 法	定期試験は、1. 上口、富田教員(25点)、2. 齋藤教員(25点)、室岡教員(50点) 合計100点満点での結果を最終評価とする。 室岡教員の評価については、定期試験90%、提出物・授業への参加度10%で総合的に評価する。			
関 連 科 目	社会学 心理学 人間関係論 生命倫理学 環境と人間 保健医療論Ⅰ・Ⅱ 社会福祉と法規 看護関係法規 基礎看護学 成人看護学 老年看護学 小児看護学 母性看護学 精神看護学			
自 己 学 習 に 関 する 指 針	メディアを積極的に活用し、「在宅看護」「在宅医療」等に関する情報を各自で得ること。 在宅看護概論の学びを復習しながら授業を受けること。			
そ の 他 の 通 知 事 項	質問には適宜応じる。			